

★ 特殊詐欺の主な手口

被害に遭いやすい「オレオレ詐欺」「預貯金詐欺」「キャッシュカード詐欺盗」「架空料金請求詐欺」「融資保証金詐欺」「還付金詐欺」の手口を知りましょう。

オレオレ詐欺

「携帯電話番号が変わった」「お金が必要」
は詐欺!

- 孫や息子になりすました犯人は最初に「携帯電話の番号が変わった」と言う
- 年齢では60才代から、特に女性の被害が多い
- 電話は平日の午前9時頃から午後9時の間にかかってくることが多い



預貯金詐欺

キャッシュカード詐欺盗

「キャッシュカードを新しくする必要がある」と自宅まで受け取りにくる（すり替える）のは詐欺!

- 警察官や金融機関・百貨店の職員などになりすまして電話をかけてくる。
- 「キャッシュカードの変更には暗証番号が必要!」と暗証番号を聞きだす。
- 封筒に割り印するなど、被害者のすきをみてカードをすり替えて盗む。



架空料金請求詐欺

身に覚えのない請求は詐欺を疑い、すぐ相談!

- 携帯電話のショートメールで宅配荷物や携帯利用料未納の問い合わせがくる
- アダルトサイト利用やパソコンのウイルス感染復旧に対する架空請求が多い
- 20代から60代と幅広い年代で電子マネーを騙し取られる手口が多い



融資保証金詐欺

お金を借りるのに先に「保証金を払え」
は詐欺!

- 大手金融会社を装った文書を郵送し信用させる
- 「低金利」「簡単に契約」などの言葉で融資を申し込ませる
- 信用度を確認するため保証金を振り込め（レターパックで送れ）と指示する



還付金詐欺

「お金を返すのでATMに行って下さい」
は詐欺!

- 税金、社会保険料や公共料金などの返金があると電話をかけてくる
- 金融機関のキャッシュコーナーに誘い出しATMを操作させる（ATMの操作方法を携帯電話で話しながら犯人が指示をする）
- 「口座に振り込む」とキャッシュカードを回収に来るケースもある

